

**「第2期山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」
策定に関するアンケート調査結果**

子育て世代アンケート調査結果

0. 結果概要

【結果概要】

実施目的	山田町内の子育て世代（0～18歳の子が居る世帯）に対するアンケート調査を行い、子育ての現状と展望、出産、就労状況等の把握及び子育て支援策への要望や子どもとの同居希望等を把握する
実施期間	令和2年9月11日（金）～令和2年9月25日（金） ※ただし、9/25～10/12の返信票も回収・集計
配付・回収方法	配付：郵送配布 回収：返信封筒による郵送回収
配付数・回収状況	配付数：1,011枚 回収数：380枚 回収率：37.6%

【アンケート設問】

	設問
1. 属性	問1. 回答者属性 ・性別 ・年齢 ・家族構成 ・住まいの形態 ・山田町での居住歴 ・居住地区 ・住んでいる地区 ・東日本大震災による影響
2. 子育ての現状	問2. 子どもの人数、年齢 問3. 子育てを主に行っている方 問4. 子育てについて悩んでいることや気になること
3. 出産について	問5. 理想とする子どもの人数 問6. 理想の子どもの人数と実際の人数との違い 問7. 実際の子どもの人数が理想より少ない理由
4. 子育て期間中の働き方について	問8. 母親の現在の就労状況 問9. パート母親のフルタイム就労希望状況 問10. 未就労母親の就労希望状況 問11. 父親の現在の就労状況 問12. パート父親のフルタイム就労希望状況 問13. 未就労父親の就労希望状況
5. 山田町の子育て支援策について	問14. 町に期待する子育て支援策 問15. 幼稚園を選ぶ際に重視した条件 問16. 出生率を増加させるために重視すべき取組
6. お子様の将来について	問17. 将来のお子さまの住まいの場所への考え
7. 自由意見	問18. 子育て支援策への意見、要望

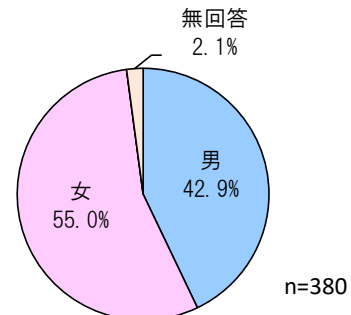
1. あなた自身のことについておたずねします

問1 あなた自身のことについておたずねします。(各項目で1つだけ○)

① 性別

・女性回答者の割合が55.0%で男性回答者を上回る結果となっています。

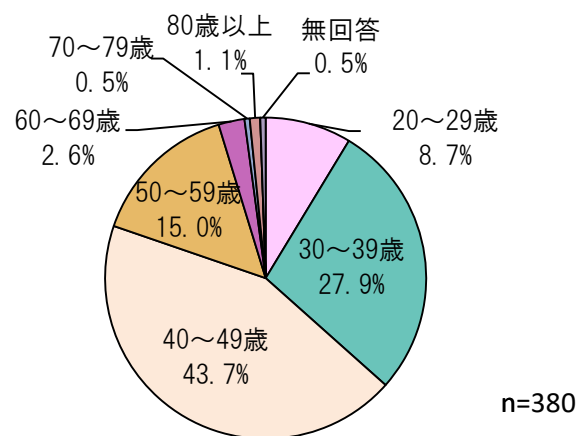
区分	回答数	構成比
男	163	42.9%
女	209	55.0%
無効回答	0	0.0%
無回答	8	2.1%
合計	380	100.0%



② 年齢

・「40～49 歳」の割合が43.7%と最も多く、次いで「30～39 歳」が27.9%、「50～59 歳」が15.0%となっています。

区分	回答数	構成比
15～19歳	0	0.0%
20～29歳	33	8.7%
30～39歳	106	27.9%
40～49歳	166	43.7%
50～59歳	57	15.0%
60～69歳	10	2.6%
70～79歳	2	0.5%
80歳以上	4	1.1%
無効回答	0	0.0%
無回答	2	0.5%
合計	380	100.0%

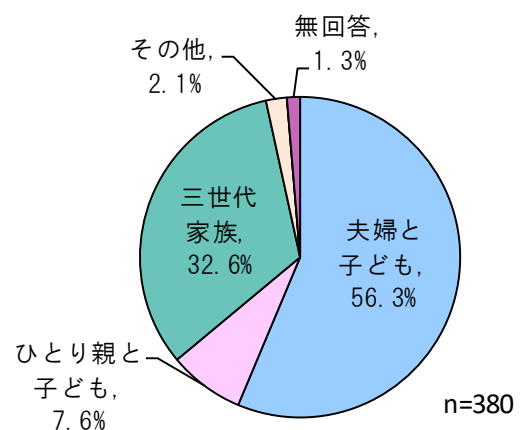


③ 家族構成

・「夫婦と子ども」(核家族)の割合が56.3%と過半数を占めており、次いで「三世代家族」が32.6%、となっています。

・「ひとり親と子ども」の割合は7.6%であり、回答者の13人に1人程度を占めています。

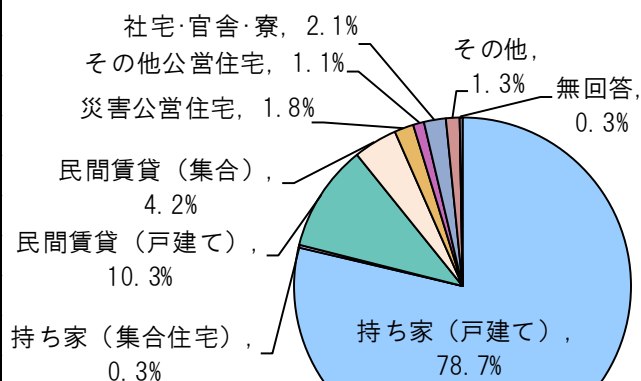
区分	回答数	構成比
夫婦と子ども	214	56.3%
ひとり親と子ども	29	7.6%
三世代家族	124	32.6%
その他	8	2.1%
無効回答	0	0.0%
無回答	5	1.3%
合計	380	100.0%



④ 住まいの形態

・「持ち家（戸建て）」の割合が78.7%と大多数を占めており、次いで「民間賃貸（戸建て）」が10.3%、「民間賃貸（集合）」が4.2%となっています。

区分	回答数	構成比
持ち家（戸建て）	299	78.7%
持ち家（集合住宅）	1	0.3%
民間賃貸（戸建て）	39	10.3%
民間賃貸（集合）	16	4.2%
災害公営住宅	7	1.8%
その他公営住宅	4	1.1%
社宅・官舎・寮	8	2.1%
その他	5	1.3%
無効回答	0	0.0%
無回答	1	0.3%
合計	380	100.0%

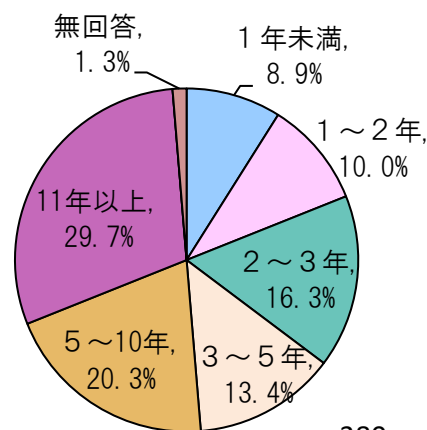


n=380

⑤ 山田町での居住歴

・「11年以上」の割合が29.7%と最も多くなっており、次いで「5～10年」が20.3%、「2～3年」が16.3%となっています。

区分	回答数	構成比
1年未満	34	8.9%
1～2年	38	10.0%
2～3年	62	16.3%
3～5年	51	13.4%
5～10年	77	20.3%
11年以上	113	29.7%
無効回答	0	0.0%
無回答	5	1.3%
合計	380	100.0%

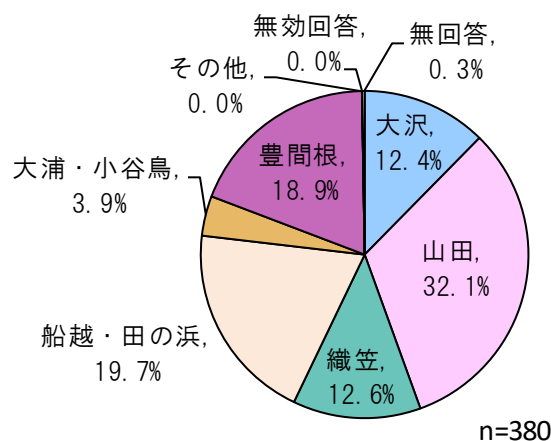


n=380

⑥ 居住地区

・「山田」の割合が32.1%と最も多くなっており、次いで「船越・田の浜」が19.7%、「豊間根」が18.9%となっています。

区分	回答数	構成比
大沢	47	12.4%
山田	122	32.1%
織笠	48	12.6%
船越・田の浜	75	19.7%
大浦・小谷島	15	3.9%
豊間根	72	18.9%
その他	0	0.0%
無効回答	0	0.0%
無回答	1	0.3%
合計	380	100.0%

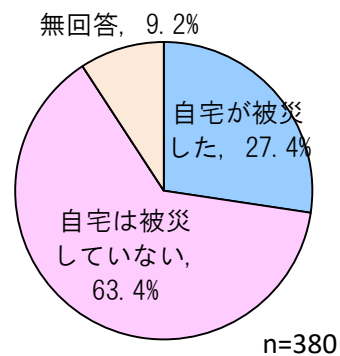


n=380

⑦ 東日本大震災による影響

- ・ 自宅が被災していない人の割合が 63.4%と過半数を占めています。
- ・ 対して、自宅が被災した人の割合は 27.4%となっています。

区分	回答数	構成比
自宅が被災した	104	27.4%
自宅は被災していない	241	63.4%
無効回答	0	0.0%
無回答	35	9.2%
合計	380	100.0%



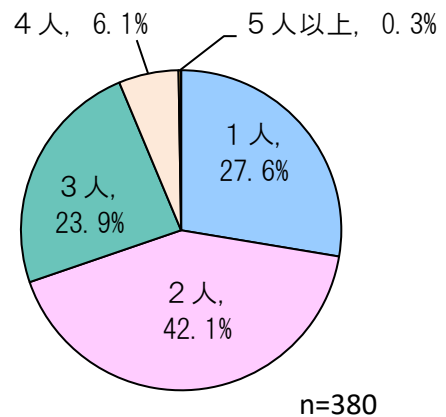
2. 子育ての現状についておたずねします

問2 お子様のことについておたずねします。(1つだけ○)

① お子様的人数

- ・ 「2人」の割合が 42.1%と最も高くなっており、次いで「1人」が 27.6%、「3人」が 23.9%となっています。

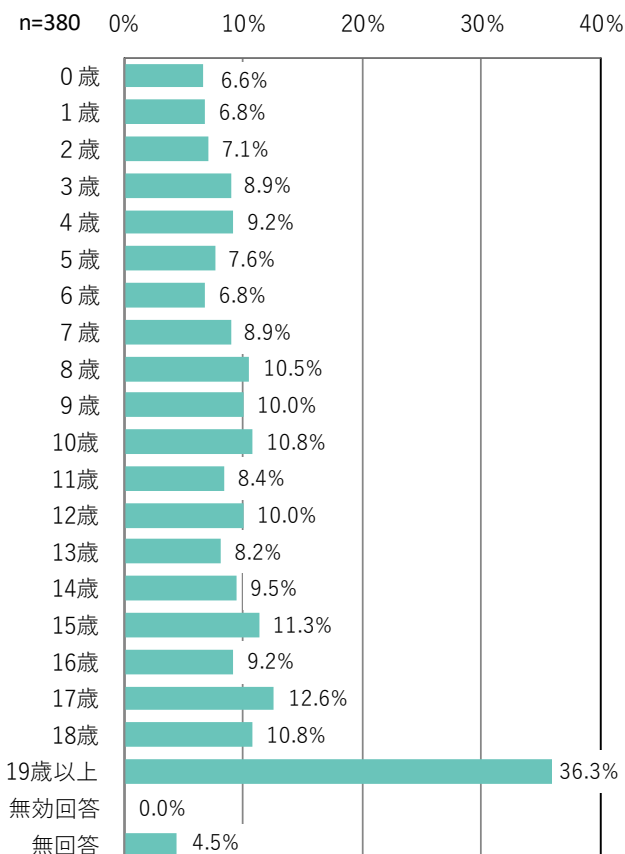
区分	回答数	構成比
1人	105	27.6%
2人	160	42.1%
3人	91	23.9%
4人	23	6.1%
5人以上	1	0.3%
無効回答	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	380	100.0%



② お子様の年齢

- ・「19歳以上」を除くと、「8歳」「9歳」「10歳」「12歳」「15歳」「17歳」「18歳」の割合が10%以上となっています。
- ・震災のあった平成23年生まれの子ども（8歳あるいは9歳）の割合はそれぞれ10.5%と10.0%であり、他の年齢と同水準になっています。

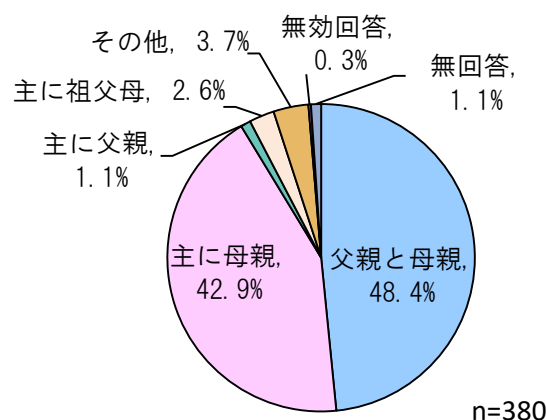
区分	回答数	構成比
0歳	25	6.6%
1歳	26	6.8%
2歳	27	7.1%
3歳	34	8.9%
4歳	35	9.2%
5歳	29	7.6%
6歳	26	6.8%
7歳	34	8.9%
8歳	40	10.5%
9歳	38	10.0%
10歳	41	10.8%
11歳	32	8.4%
12歳	38	10.0%
13歳	31	8.2%
14歳	36	9.5%
15歳	43	11.3%
16歳	35	9.2%
17歳	48	12.6%
18歳	41	10.8%
19歳以上	138	36.3%
無効回答	0	0.0%
無回答	17	4.5%
回答者数計	380	—



問3 子育てを主に行っている方はどなたですか。（1つだけ○）

- ・「父親と母親」が48.4%と最も高くなっており、次いで「主に母親」が42.9%となっています。

区分	回答数	構成比
父親と母親	184	48.4%
主に母親	163	42.9%
主に父親	4	1.1%
主に祖父母	10	2.6%
その他	14	3.7%
無効回答	1	0.3%
無回答	4	1.1%
合計	380	100.0%



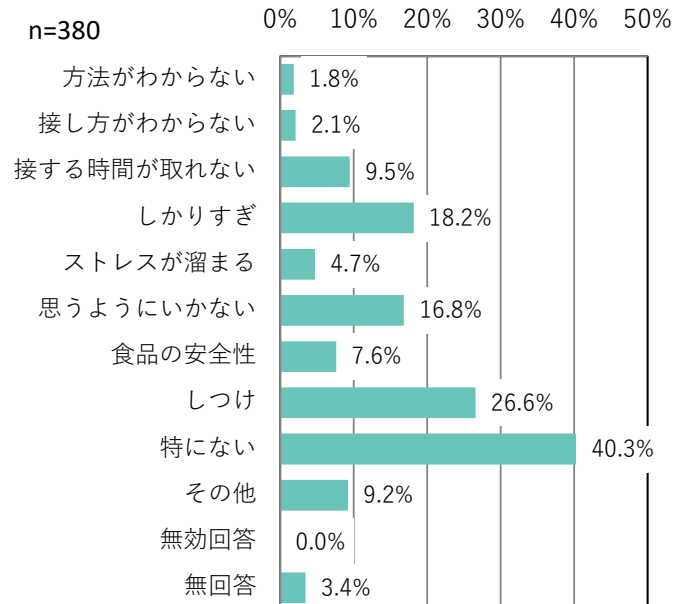
「その他」の具体的内容

家族全員(3件)
 父母、祖父母(3件)
 母親と祖母(3件)
 母親と祖父母(2件)
 父母、祖母
 父と祖父母
 姉

問4 子育てについて悩んでいることや気になることはありますか。（3つまで○）

- ・「特にない」が40.3%と最も高くなっています。
- ・悩んでいること、気になることの中では、「しつけ」が26.6%、「しかりすぎ」が18.2%、「思うようにいかない」が16.8%となっています。

区分	回答数	構成比
方法がわからない	7	1.8%
接し方がわからない	8	2.1%
接する時間が取れない	36	9.5%
しかりすぎ	69	18.2%
ストレスが溜まる	18	4.7%
思うようにいかない	64	16.8%
食品の安全性	29	7.6%
しつけ	101	26.6%
特にない	153	40.3%
その他	35	9.2%
無効回答	0	0.0%
無回答	13	3.4%
回答者数計	380	—



「その他」の具体的内容

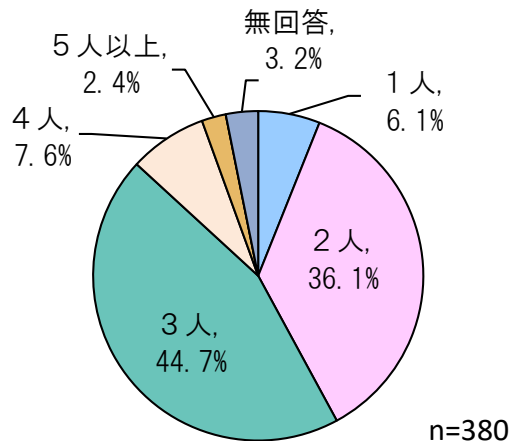
勉強・学力(4件)
 子供の病気(2件)
 もう少して自立するので悩みはありません
 スマホでケンカになる
 小さい頃の子育てが、子供が親になった時に与える影響
 祖父母との考え方のズレ しつけや食事面に関して
 食わず嫌いを直したい
 仕事との両立が難しい。
 人間関係
 子供のストレス解消法
 父親が無関心
 学校へ行きたがらない
 別居で意思疎通ができない
 学校での友人関係、先生の対応
 子供の将来、進路に不安
 将来の教育費用
 進路について
 遊ばせる場所が少ない。
 子供の将来について(障害がある)
 病気の際の対処法
 学校への支払い
 生活費
 同居する義父母へのストレス
 教育、習い事、しつけ

3. 出産についておたずねします

問5 （実際のお子さまの人数とは関係なく）理想としては、何人のお子さまが欲しいと思いますか（思っていましたか）。（1つだけ○）

・「3人」が44.7%と最も高くなっており、次いで「2人」が36.1%となっています。

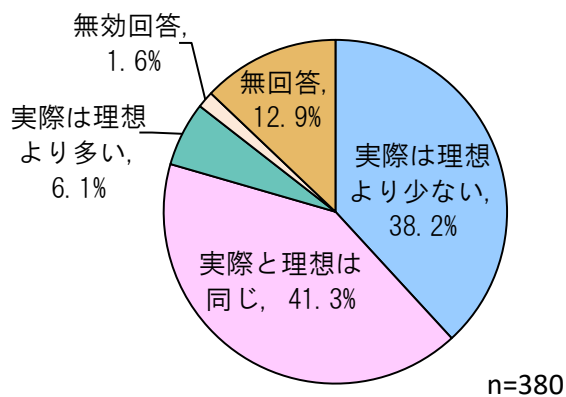
区分	回答数	構成比
1人	23	6.1%
2人	137	36.1%
3人	170	44.7%
4人	29	7.6%
5人以上	9	2.4%
無効回答	0	0.0%
無回答	12	3.2%
合計	380	100.0%



問6 問5でお答えいただいた「理想のお子さまの人数」と、「（今後のご予定（ご希望）を含めた）実際のお子さまの人数に違いはありますか。（1つだけ○）

・「実際と理想は同じ」が41.3%と最も高くなっていますが、次いで高いのは「実際は理想より少ない」であり、38.2%となっています。

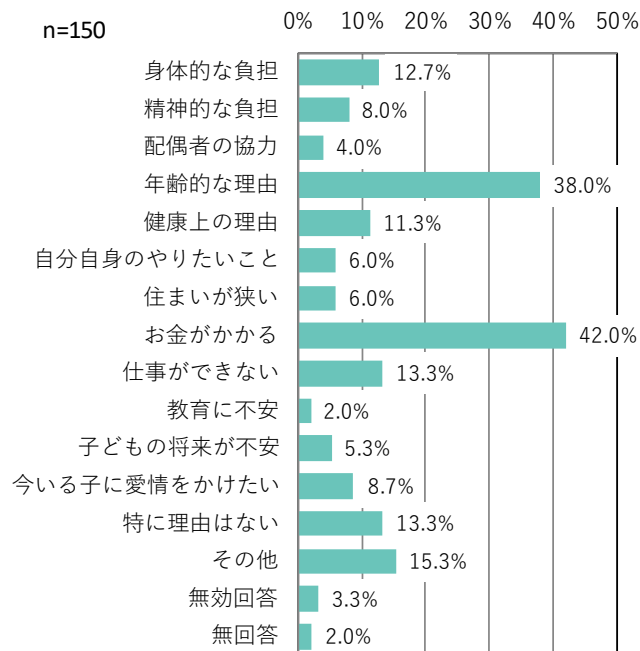
区分	回答数	構成比
実際は理想より少ない	145	38.2%
実際と理想は同じ	157	41.3%
実際は理想より多い	23	6.1%
無効回答	6	1.6%
無回答	49	12.9%
合計	380	100.0%



問7 問6で①とお答え方にお聞きします。「実際」が「理想」より少なくならざるを得ない理由は何ですか。（3つまで○）

・「お金がかかる」が42.0%と最も高くなっており、次いで「年齢的な理由」が38.0%となっています。

区分	回答数	構成比
身体的な負担	19	12.7%
精神的な負担	12	8.0%
配偶者の協力	6	4.0%
年齢的な理由	57	38.0%
健康上の理由	17	11.3%
自分自身のやりたいこと	9	6.0%
住まいが狭い	9	6.0%
お金がかかる	63	42.0%
仕事ができない	20	13.3%
教育に不安	3	2.0%
子どもの将来が不安	8	5.3%
今いる子に愛情をかけたい	13	8.7%
特に理由はない	20	13.3%
その他	23	15.3%
無効回答	5	3.3%
無回答	3	2.0%
回答者数計	150	—

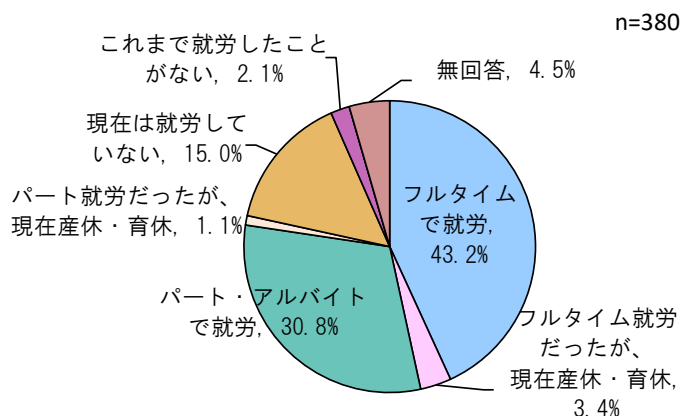


4. 子育て期間中の働き方についておたずねします。

問8 【母親】現在の就労状況について、当てはまる番号に○を付けてください。（1つだけ○）

・「フルタイムで就労」が43.2%と最も高くなっており、次いで「パート・アルバイトで就労」が30.8%となっています。

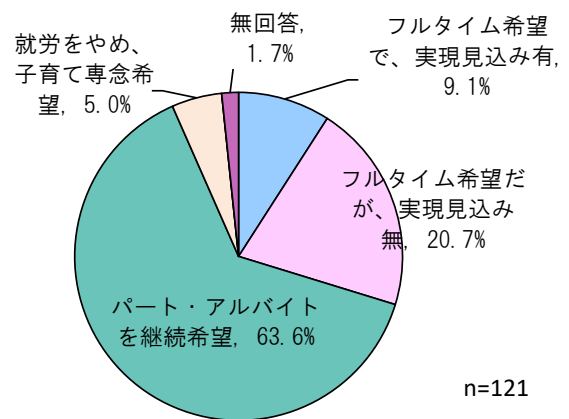
区分	回答数	構成比
フルタイムで就労	164	43.2%
フルタイム就労だったが、現在産休・育休	13	3.4%
パート・アルバイトで就労	117	30.8%
パート就労だったが、現在産休・育休	4	1.1%
現在は就労していない	57	15.0%
これまで就労したことがない	8	2.1%
無効回答	0	0.0%
無回答	17	4.5%
合計	380	—



**問 9 【母親】問 8で③、④（パート等で就労している）とお答えの方にお聞きします。
フルタイムでの就労を希望しますか。当てはまる番号に○を付けてください。（1
つだけ○）**

・「パート・アルバイトを継続希望」の割合が 63.6%と最も高くなっており、次いで「フルタイム希望だが、実現見込みは無い」が 20.7%となっています。

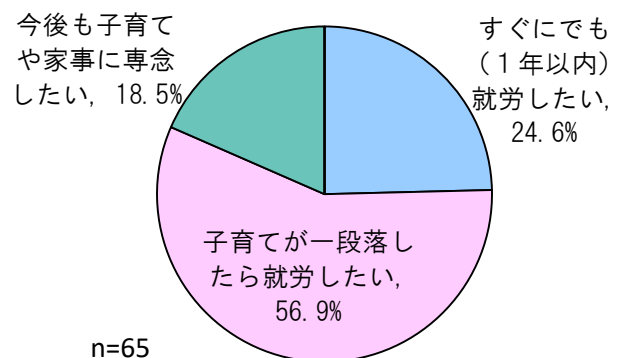
区分	回答数	構成比
フルタイム希望で、実現見込み有	11	9.1%
フルタイム希望だが、実現見込み無	25	20.7%
パート・アルバイトを継続希望	77	63.6%
就労をやめ、子育て専念希望	6	5.0%
無効回答	0	0.0%
無回答	2	1.7%
合計	121	100.0%



**問 10 【母親】問 8で⑤、⑥（現在は就労していない）とお答えの方にお聞きします。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号に○を付けてください。
（1つだけ○）**

・「子育てが一段落したら就労したい」の割合が 56.9%と半数以上を占めており、次いで「すぐにでも就労したい」が 24.6%、「今後も子育てや家事に専念したい」が 18.5%となっています。

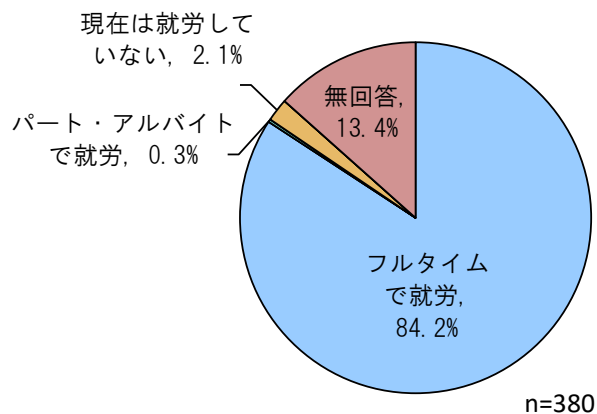
区分	回答数	構成比
すぐにでも(1年以内)就労したい	16	24.6%
子育てが一段落したら就労したい	37	56.9%
今後も子育てや家事に専念したい	12	18.5%
無効回答	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	65	100.0%



**問 11 【父親】現在の就労状況について、当てはまる番号に○を付けてください。
(1つだけ○)**

・「フルタイムで就労」が 84.2%と大多数を占めており、「無回答」の 13.4%を除くと、次いで多いのは「現在は就労していない」の 2.1%となっています。

区分	回答数	構成比
フルタイムで就労	320	84.2%
フルタイムだったが、 現在産休・育休	0	0.0%
パート・アルバイトで就労	1	0.3%
パートだったが、 現在産休・育休	0	0.0%
現在は就労していない	8	2.1%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無効回答	0	0.0%
無回答	51	13.4%
合計	380	100.0%

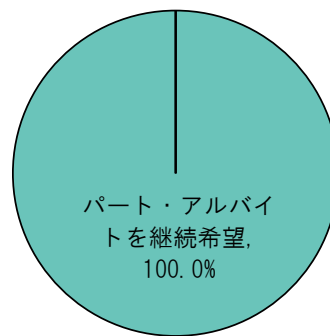


**問 12 【父親】問8で③、④（パート等で就労している）とお答えの方にお聞きします。
フルタイムでの就労を希望しますか。当てはまる番号に○を付けてください。
(1つだけ○)**

・現在パート・アルバイトで就労している父親は 1 人のみであり、その回答は、「パート・アルバイトを継続希望」であった。

区分	回答数	構成比
フルタイム希望で、実現見込み有	0	0.0%
フルタイム希望だが、実現見込み無	0	0.0%
パート・アルバイトを継続希望	1	100.0%
就労をやめ、子育て専念希望	0	0.0%
無効回答	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	1	100.0%

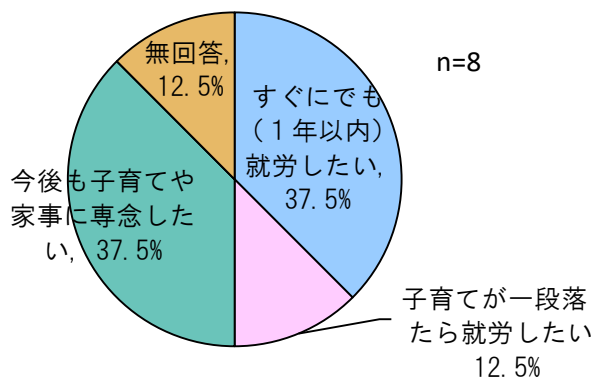
n=1



**問 13 【父親】問8で⑤、⑥（現在は就労していない）とお答えの方にお聞きします。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号に○を付けてください。
（1つだけ○）**

・「すぐにでも就労したい」「今後も子育てや家事に専念したい」の割合が 37.5%と高くなっており、次いで「子育てが一段落したら就労したい」「無回答」が 12.5%となっています。

区分	回答数	構成比
すぐにでも(1年以内)就労したい	3	37.5%
子育てが一段落したら就労したい	1	12.5%
今後も子育てや家事に専念したい	3	37.5%
無効回答	0	0.0%
無回答	1	12.5%
合計	8	100.0%

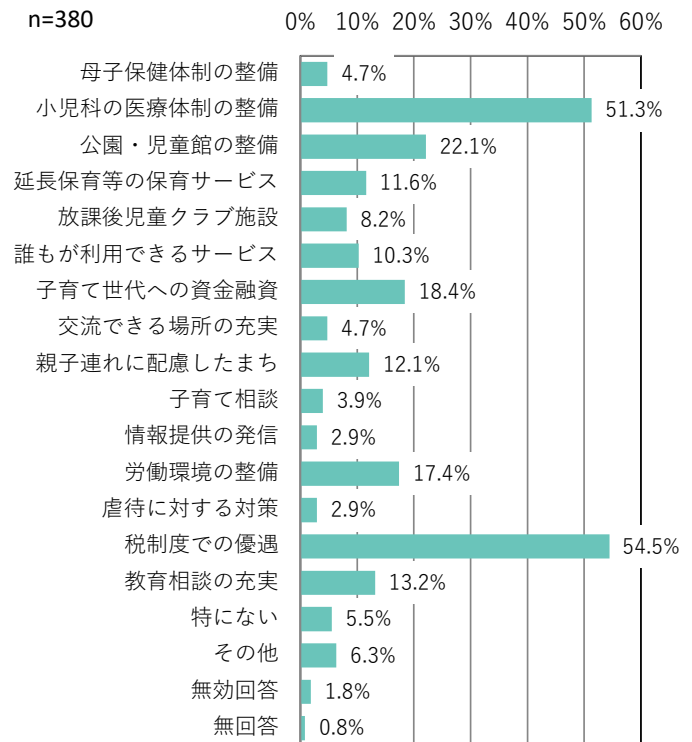


5. 山田町の子育て支援策についておたずねします。

問 14 町に期待する子育て支援策は何ですか。（3つまで○）

・「小児科の医療体制の充実」及び「税制度での優遇」の割合が50%を超えています。また、これらに次いで「公園・児童館の整備」が22.1%、「子育て世代への資金融資」が18.4%となっています。

区分	回答数	構成比
母子保健体制の整備	18	4.7%
小児科の医療体制の整備	195	51.3%
公園・児童館の整備	84	22.1%
延長保育等の保育サービス	44	11.6%
放課後児童クラブ施設	31	8.2%
誰もが利用できるサービス	39	10.3%
子育て世代への資金融資	70	18.4%
交流できる場所の充実	18	4.7%
親子連れに配慮したまち	46	12.1%
子育て相談	15	3.9%
情報提供の発信	11	2.9%
労働環境の整備	66	17.4%
虐待に対する対策	11	2.9%
税制度での優遇	207	54.5%
教育相談の充実	50	13.2%
特にない	21	5.5%
その他	24	6.3%
無効回答	7	1.8%
無回答	3	0.8%
回答者数計	380	—



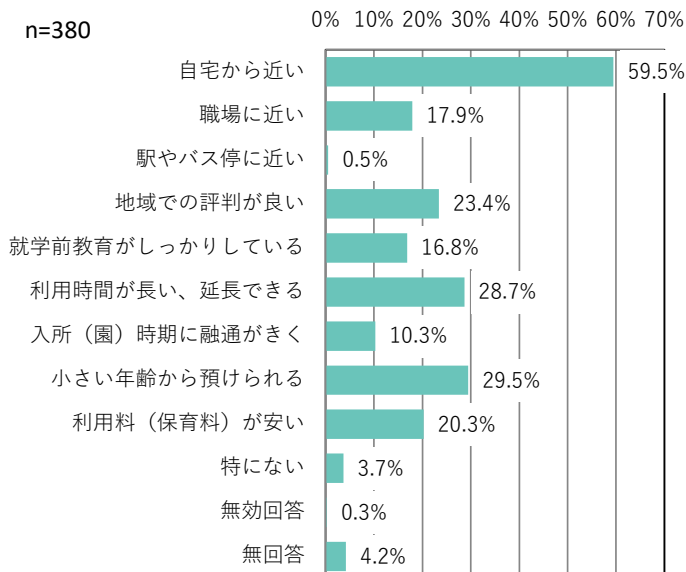
「その他」の具体的内容

人間形成のため、スポーツ環境整備（指導者への支援、運動場の整備）
 産婦人科、小児科を作ってほしい
 子供の突然の熱などで仕事を休むのが一番心苦しかったのでその悩みを解消出来る何か。
 雨天時等に利用できる、屋内施設（運動場等）がほしい
 今でも十分なサービスを受けていると思っています。
 障害児に関する機関やサービスの充実
 療育教育（児童発達支援）や放課後デイサービス等、特別支援にも力を入れて欲しい
 休日の部活時のスクールバス
 子どもの安全確保のために、「通学路」や「一時停止」など、道路標識を増やしてほしい
 就労の充実
 育児で思うように働けない人への金銭的補助か、長時間や休日にも働けるような制度の充実。
 登下校の際、危険な道路の横断場所等での見守り（スクールガードさんの配置）をしてほしい。大槌では、暗くなっても光るベストを着用したガードさんが小中学生の横断を助けています。
 雨でも遊べる場所
 特に望まない ふれあいセンターをどうにかしろ！！
 認定こども園を設立してほしい
 大型商業施設の誘致
 放課後、週末、長期休業中の充実したアクティビティの提供
 小児科医師開業支援、不登校児童・生徒向けの自宅でのオンライン学習環境整備（出席扱いとなるカリキュラムの作成）
 放課後児童クラブの時間延長（8時迄の迎えは厳しい）
 子育て世代への就労支援、働きやすい町づくり
 家事援助等ヘルパー支援
 中央だけの整備だけではなく、周りの地区の子供の事も考えて公園など整備していただきたい。
 収入等に左右されない学習環境
 子供の安全を守る為の危険運転車（者）への指導など危険運転車（者）の通報条例等の制定。産休後の仕事場を守る
 小学校にて問題行動をくりかえしている子がいるのに6年間も学校で解決ができない、本人も苦しいと思う。同じクラスの子は勉強が出来る状態ではない。

**問 15 あなたが保育所（園）・幼稚園を選ぶとき、何を重視しますか（しましたか）。
当てはまる番号に○を付けてください。（3つまで○）**

・「自宅から近い」が59.5%と最も高くなっており、次いで「小さい年齢から預けられる」が29.5%、「利用時間が長い、延長できる」が28.7%となっています。

区分	回答数	構成比
自宅から近い	226	59.5%
職場に近い	68	17.9%
駅やバス停に近い	2	0.5%
地域での評判が良い	89	23.4%
就学前教育がしっかりしている	64	16.8%
利用時間が長い、延長できる	109	28.7%
入所（園）時期に融通がきく	39	10.3%
小さい年齢から預けられる	112	29.5%
利用料（保育料）が安い	77	20.3%
特にない	14	3.7%
無効回答	1	0.3%
無回答	16	4.2%
回答者数計	380	—



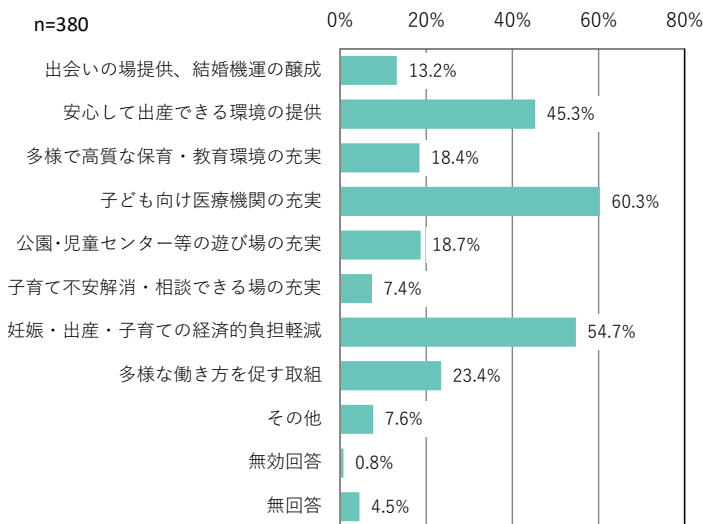
「その他」の具体的内容

大浦地区の人が多い
身内が就労しているため
食育や自然にふれあう機会が多いこと
給食があるか
子供3人、さくら幼稚園でした。先生が一生懸命。
送迎バス有
スクールバスなどの送迎がある
実際に通っている人から教えてもらった
病児保育をしている保育所を選んだ。病児に預ける際、なれている場所、先生のほうがいいと思いましたし、兄弟がいるのでお迎えも1ヶ所ですむので。本当にお世話になりました。
暑さ対策、寒さ対策がしっかりしている（エアコンなど）
祖父母宅に近い
バス通園があったため
震災のため
安全な場所
所在地が災害時に安全であること
その園しかなかった。
肯定的に関わってくれて、保護者の想いに寄りそってくれる園
送迎バス
環境の良さ
親の負担となる行事がなるべく少ない所
面積 庭が広いところ
園の環境、キレイさ
先生が明るく優しそう
防災の安全性

問 16 今後、山田町が出生数（出生率）の増加や出産・子育て世帯の転入を促すために重視すべき取組は何だと思いますか。当てはまる番号に○を付けてください。（3つまで○）

・「子ども向け医療機関の充実」が60.3%と最も高くなっており、次いで「妊娠・出産・子育ての経済的負担軽減」が54.7%、「安心して出産できる環境の提供」が45.3%となっています。

区分	回答数	構成比
出会いの場提供、結婚機運の醸成	50	13.2%
安心して出産できる環境の提供	172	45.3%
多様で高質な保育・教育環境の充実	70	18.4%
子ども向け医療機関の充実	229	60.3%
公園・児童センター等の遊び場の充実	71	18.7%
子育て不安解消・相談できる場の充実	28	7.4%
妊娠・出産・子育ての経済的負担軽減	208	54.7%
多様な働き方を促す取組	89	23.4%
その他	29	7.6%
無効回答	3	0.8%
無回答	17	4.5%
回答者数計	380	—



「その他」の具体的内容

安定した給与が得られる職場を増やす。
安定した収入ができるような職、仕事がある町内にあるということ
就労先の拡充
中央にまとめるのではなく部落格差のないようにする（インターの造りなど）
若者への経済支援
夫婦共働きなら、家事も共同で行うことについて、祖父母世代の理解を促し女が家事をすることを強制しないこと
交通の便、商業施設の充実
産後も暮らしていけるような給付や、育児制度。
現在、子育て中の人の意見を聞く。不満が解消されれば魅力になると思います。
賃金の値上げ（収入が増えなければ子供の数が減る）
ひとり親の住まいと就労を充実すれば移住も見込める
転入者への補助等の制度拡充
働き口、仕事がないと山田に住みたくても住めない
教育機関の充実（勉強面、スポーツ面、就職面等）
働く場所を増やしてほしい
若い世代が住みたいと思える女性の充実
医療費無料
ショッピングモールなど若い世代でも楽しめる町づくり。
子供の医療費タダ、家賃タダなど
出産、子育て世帯の転入には、住まいの場と働く場の確保だと思います。
子育て世代が住みたいと思える町づくり
もっと人をふやすために、土地を安くしたり、アパートなど、住める環境を増やせば、高速もできたので、人が集まると思う。
就労の確保、仕事があればみんな地方に出ていき、帰ってくるのがなくなる
子育て世帯の転入の場合、金銭的なメリットを長期で与える（与えた分は結果的に住民税等で回収され、山田での消費が増えればそれ以上のメリットが山田町にもたらせると思う）。とりえずモニターを何組か募集し5年位の期間で予実の評価を行いモニターが正しいか確認を行う。町での予算がきびしいのであれば、山田の比較的余裕のある企業へ賛同していただき寄附の形で頂き（非課税扱い）運用してみてはどうか？と考えます。
全部必要だと思う。
子育て世帯への経済支援
子供がいるから無料だとか得になるような社会になればいい
手当、助成制度の充実
持ち家の促進などで定住してもらえるような補助や、町民への定期的子育てアンケート

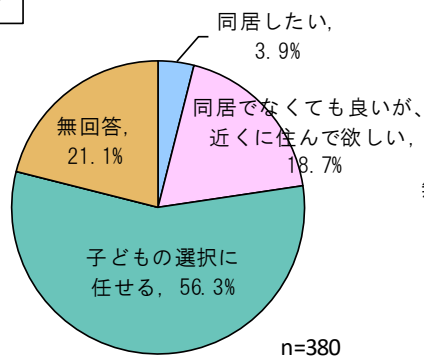
6. 山田町の子育て支援策についておたずねします。

問 17 将来のお子さまの住まいの「場所」についてどのようにお考えですか。男の子と女の子それぞれ、最も近いと思われる番号に○を付けてください。（1つだけ○）

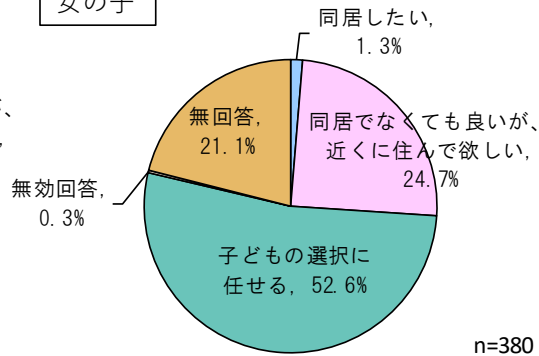
- ・「子どもの選択に任せる」が男の子で 56.3%、女の子で 52.6%とそれぞれ最も高くなっており、次いで「同居でなくても良いが、近くに住んでほしい」が男の子で 18.7%、女の子で 24.7%となっています。
- ・男の子と女の子を比較すると、男の子では「子どもの選択に任せる」及び「同居したい」の割合が女の子より高くなっています。一方で、「同居でなくても良いが、近くに住んでほしい」の割合は、女の子が男の子より高くなっています。

区分	男の子		女の子	
	回答数	構成比	回答数	構成比
同居したい	15	3.9%	5	1.3%
同居でなくても良いが、近くに住んで欲しい	71	18.7%	94	24.7%
子どもの選択に任せる	214	56.3%	200	52.6%
無効回答	0	0.0%	1	0.3%
無回答	80	21.1%	80	21.1%
合計	380	—	380	—

男の子



女の子



7. 出産や子育てなどに関するお考えがありましたらお書きください。

問 18 将来にわたって住みよい活力ある山田町にしていくための子育て支援策について、ご意見・ご要望などある場合はご記入をお願いします。

- ・全回答 380 件のうち、自由意見の記述があったのは 106 件です。
- ・子育てと両立できる仕事や保育環境の充実、子育てへの経済的援助、小児医療体制の充実、教育面の充実等についての意見が多く見られます。

番号	自 由 意 見
1	一人親世帯ですが、フルタイムで稼いで実家に住んでいます。子供の為に、一生懸命仕事しています。が、実家くらしの為に児童扶養手当など一人親世帯の手当はもらえません。生活のために仕事して、一人で子供のためにフルタイムで稼いでいるのに、といても納得できません。同居している人で収入の多い人で判断しているのではと言われますが、子供のための手当なのですよ？一人親なら、全ての世帯に給付してくれるような制度を町でできないんですか？一人親なのに優遇される人とされない人の差をなくしてほしい。
2	出産祝い金を支給してほしい。山田病院に産科と小児科を設置してほしい。ファミリーサポート事業をしてほしい。じゃぶじゃぶプールの再開。
3	健診などで他の市町村に行くのは妊婦としては割と負担が大きいです。子供の急な体調不良にも離れたところに行かざるを得ないので大変です。産めよ育てよと言うなら、そちらをまず充実させて欲しいです。里帰りしたい人も地元には病院がないので帰らないし、安心できる整備がないと人は入ってこないです。”出会いの場がない”の前に、施設の充実がないと難しいと思います。
4	近くに産婦人科がない為、不便である。宮古にはあるが、個人院も閉院したりしている為、不安がある（出産への不安）。子育てにおいては、未就園児を対象とした場が沢山あり、親子の交流であったり、悩み等をすぐに相談できるので参加するようにしている。
5	雨の日に子どもと遊びに行ける場所が少ないので増えると嬉しいです。他の場所で見ただけ、廃校になった校舎を利用した、カフェと併設された遊び場や、温泉とボールプールのような遊び場が併設されていると、子育て世代だけでなく、幅広い年代の方も利用できるのではないかと思います。
6	山田町に対してではないが、母子家庭・父子家庭に対しての経済的支援をしっかりとしてほしい。（ひとり親の支給が収入高だけで不支給は不公平すぎ。それを目的に仕事を減らす人や仕事をしない人がいる中で、生活の為に仕事をして収入を得ている人に冷たい、厳しい対応すぎる。）小学校入学などのタイミングである支援金なども同じ。なんでも収入だけで判断するのは不公平。
7	教育面での充実が一番必要。学校が統合となり様々なレベルの児童生徒が一つのクラスに集まっていることから学校教育も大変なのではないかと思う。山田町で授業のサポートをする支援員を各学校の全てのクラスに配置するなどして学習の定着に注力してほしい。学習においては各家庭のやり方、環境もあると思うが学校に期待するところは大きいと感じる。いかに学校での学習の定着が行えるかによって家庭学習との連携で身につく学力は大きくなると思う。学習塾が充実していない山田町では学校以外での学力向上に期待できないと感じる。金銭的な助成も大切だが、人による支援があると良い。
8	小さい子に対しての支援は多いが、子供が成長するにつれ、支援がなくなってくる。本当にお金がかかるのは成長してから。今の 20 代、30 代で小さい子の子育てをしている人は、保育料が無料だの、医療費がかからないと言っているが、親が 40 代、50 代の子どもが小さい頃の子

番号	自 由 意 見
	育て支援は少なく高い保育料を払い、医療費の支援も子供が成長してからだった。その子供たちが、今、高校生から専門学校生、大学生などになっている。20代、30代ばかりが良い思いをするのではなく、40代、50代にももう少しやさしい町になってほしい。例えば、今は被災地支援でバスや三鉄の定期代が半額になっているが、支援が終わってからは、町で支援し、割引にしてくれるとか、町の奨学金を借りても、山田町に戻って来て、何年以上働いたら、その後は返済しなくて良いなど。でも一番には、子供達が就職したくなるような企業が少ない。そこが人口減少の一番の原因だと思う。
9	数年前に東京から私の実家がある山田町へ親子3人で引っ越してきました。最初は両親と同居（6ヶ月）していましたが、東京暮らしが長い私達夫婦と田舎しか知らない両親との同居はなかなか息が詰まるもので、約半年で別居しました。今は私と夫、中学生の娘とアパートに住んでいます。都会の賃貸契約と違い、かなりゆい契約で暮らしやすいと思いますが、不満と言うと、アパートが少ない！！ペット2匹を飼っていますが、ペット同伴で入居できるアパートがもう少しあればいいと思います。住宅購入は考えていません。将来を考えると身動きが出来なくなる一戸建てはリスク大だからです。
10	結婚、出産を機に仕事をあきらめる人も多いので、女性でも平等に仕事を続けられる保育や子育て面のフォローも必要だと思う。祖父母と同居していない方の共働きは、大人、子供ともに時間に余裕がなく、生活していくためには仕事はしなければならず将来の不安も多い（子どもの精神面、大人のストレス）。長期的な支援をすべきと思う。宮古と山田で隣どうしなのに、妊婦の歯科検診が有料なのは疑問に思いました。山田にも産婦人科、予防接種全対応の小児科があれば安心できる。今は宮古まで行かないと受けられないもの有り。働いている人の3歳、6歳健診が長くかかりすぎて、負担。職場に急に休みたいと伝えても、いやな顔をされる。あらかじめ、1年以上のスケジュールを伝えてほしい。
11	信号が少ないので通学は危険を伴う。信号が少ないので子供に交通ルールを教育する機会が少ない。幼児の支援体制は他の町等より充実していて良い。
12	子どもが大好きで出産前も保育の仕事をしていました。出産して子育てするって簡単に考えて出来るだろうと思っていましたが、実際やってみると大変な事ばかりで。もちろん嬉しいこともありますが、思っているように生きられない事もつらいと感じました。出産のために仕事を辞めたのでその事も後悔したりもしました。山田町に望むことはお母さんたちが「孤」育てにならないようにすること、子どもがいても仕事をしやすく自分らしく生きられると感じる職場や場所づくりを行うこと、お母さんたちに優しくすることで子どもの数も増えていくのではないかなあと考えたりします。私自身パートで町内の保育園で働いています。今、大変なこともあります子育てと仕事で充実した日々を送っています。微力ではありますが山田町のお母さんたちの手助けができて自分の自信になっています。夫の転勤がない限り山田町で子育てしながらパートをがんばりたいと考えています。できたらもう1人、子供も欲しいですけど…これからも山田町に期待しています。
13	仕事場が少なすぎる。この先、山田町は今以上に少子化となると思う。子育て支援以前に世帯収入を増やす町を確立させる事が第一です。今の子供達が将来、この町に住む事の可能性は低いと思います。仕事が少なければ、収入も無いわけで、生業が困難。人間みな平等に与えられる事は教育（学問）である事から、特化した教育で県内で上位に入る、魅力的な教育（民間含む）を行う場をもうける事も必要だと思う。その先に、教育を活かした、今の子供達が強いローカルビジネスを起業できるチャンスを作る事も大切。いなかもの過ぎる為、外部の環境をもっと知らせる。又は体験させる事は大切。今の閉鎖された町の環境を抜本的に見直すべき！！
14	町内に小児科の専門医がなく、苦勞しています。先日MRワクチン2回目の接種の案内を山田町からいただき、かかりつけ医の川原田小児科さんへ予約の電話をしましたが、コロナの関係で宮古市在住者しか受付していないとのことでした。近藤医院は同時接種をしていない。子どもにとっていつもの慣れ親しんだ病院での接種の方が負担が少ない（予防接種、注射をいつもと違う病院、川原田さん以外で受けることは我が子にとって大きな不安でした。パニックを起こすかどうか心配でした。）。以上の理由から、山田町に住んでいても小児科専門医に適切につ

番号	自 由 意 見
	ながるような仕組みの整備を強く希望します。
15	働きながら子育てをする世帯が多いと思いますので保育園の延長や休日保育もお金がかからない or 安い金額で預けることができればとても助かります。他の市町村では、子どもが生まれるたびに町から御祝金やおむつなどが頂けたりすると聞いたことがあります。同じような制度があってもよいのでは？と思いました。
16	子育てにかかる金銭的支援、出産・育休の時の金銭的支援、学童保育を充実させる。高校生への定期券の補助。大学への奨学金などの支援（給付でなく貸付になったとききました）。児童手当、医療費負担軽減を。18歳まで、もしくは高校卒業までにしても良いのでは？（現物支給）
17	一人親世帯だと、小・中の行事が重複するのは困る。子供達が、部活以外でももっと練習できるような場所などあれば良いと思う（旧学校体育館の開放など）
18	保育園入所中の友達に聞くと、平日友達が休みの日には保育園を休ませても良い（休ませた方が良い）と先生に話されたり、土曜日は友達夫婦が仕事でも保育園は休み（休ませられたり）、祖母が見る、私が保育園へ通わせていた頃は、土曜日は午前中登園させていましたし、18：00まで預けていました。親が休みでも、1人の時間として過ごしてほしいと思ったりします。
19	子供の医療費は、なるべく全額現物支給がありがたい。
20	子育て支援として経済的な援助、児童手当の充実があれば良いと思います。
21	社会保障としての若者への支援 保育料等の無償化
22	祖父母世代の夫婦共働きについての理解が低すぎる。共働きを促す反面、家事や介護については、今現在も女性が行うことが多い。家事、育児、仕事をすべて女が行ってあたりまえと考えている祖父母が多い。これでは、いくら社会支援があっても住みよい山田町とは言えない。
23	子育て支援は充実している方だと思います。自分自身、義父、義母との同居でストレスが溜まっていて嫌になってしまって山田町を出ようか悩んでいるところなので、こういう悩みを気軽に相談しに行ける場所が欲しいなあと考えています。とても辛いので話を聞いてほしいです。
24	子供がゲームばかりしないように公園などを作ってほしい。遊ぶ場所がない。
25	保育施設などの充実、親に合わせた町づくりも大事だが、親がもう少し子と関わり愛着をしっかりもてる町づくりが大事だと思う。保育園にあずける必要性。親との時間の少なさ。ただサービスを増やしていくだけでは、親は子と接しなくなっていくと感じます。
26	臨機応変に迅速な対応をして頂きたい（コロナ流行時、マスクが品薄になった際、妊婦へマスクを配布してくれた県や市もあった）。出生数が少し増えてきたと伺いました。今後、出産や子育て世帯を増やす為には、予防接種の助成券の他、出産祝い金（一人産んだから〇円ではなく、二人目以降～〇円などすれば、二人目を考えるきっかけになる可能性もある）やオムツ（オムツ券など）の支給などがあればありがたいと思います。予算の関係もあるかとは思いますが…。乳児の2ヶ月健診はなぜないのか？集団でなくても小児科に依頼しやってもらえれば発育状況も知ることができ不安軽減につながるのでは。（2ヶ月～予防接種も開始となる為、小児科へ行く機会と一緒に…と思った）その分、山田では助産師・保健師さん方が手厚くフォローして下さっているのはありがたいと思っています。
27	少子高齢化の時代となり我が町も少ない子供と多くなる一方の高齢者という状況となりつつあります。少なくなる一方の子供を支援するため、きびしい財源、そう多いとは思えないスタッフをどう有効に使って支援していくか、難しい課題だと思います。1つ意見があるとするれば、多くなる高齢者の知恵と体力を有効活用していくのも良いと考えます。例えば放課後児童クラブと高齢者のサークル的な支援事業を合併して、小学生が高齢者から知恵や遊びを学びながら見守ってもらう。子育てサークルも同様に高齢者の事業と合併することにより限られた財源やスタッフの削減につながります。高齢者の多くなる時代、高齢者の活性化を図る一助にもなるかと思っています。

番号	自 由 意 見
28	子育て中で、悩んでいる方々はたくさんいると思います。気軽に相談できて、行きやすい山田町になるように改善してほしいです。
29	短時間保育、長時間保育の制限を外してほしい。8時間労働や休日出勤をして、子供との生活のために働きたい。そのために職業訓練や勉強、職場でのスキルアップをしたい。また、保育園に預けている間に、家事や用足しをしたくても、うまくいかないことが多い。その度に、延長料金を払う（数百円）くらいなら、標準保育を皆が受けられるようにしてほしい。家庭の事情でほとんど1人で子供を見ているせいで、自由な働き方ができない。育児が原因で働けず、貧しい暮らしにならないよう、子供を預けられるサービスを充実させるか、働けない分の支援をして頂きたい。コロナ休業が原因で収入が少ない家庭への支援をして頂きたい。以前、子供がいる家庭に1万円の給付があったものの、コロナ禍が続いているのに、1度給付したきりでは意味がないのでは…と思う。お金の給付に限らず、子供の両親が自由に働き、住まいを安定して保てるような支援をしてほしい。
30	子育てにはやはりかなり金がかかるので、現金支給にこだわったことでなくていいので、現物支給とかあってくれれば助かります。子供がケガや熱などで病院へ行くとき、親も仕事を抜けて連れていくことになるので、子供や就労年齢優先時間帯というのを設けてもらえればすごく助かります。
31	出産も病院が遠くて不安。小児科の病院もなく不安。病院が無いというのは不安要素として大きすぎる。私は子供3人松井産婦人科で出産したが今は閉院してしまい、伊東産婦人科と宮古病院のみ。病院の評判なんかを聞くと…色々考えるものがある。子育てと言わずお年寄りはもちろん私達の世代もだが、生存率を上げるための救急搬送の時間（距離）もしくは医者確保が何より必要ではないか。お店などはとても充実していて住みやすいが、病院となると不安が多い。（山田に嫁に来てつくづく思う）医療体制の充実が住みやすい町につながると思う。
32	児童手当を18歳まで支給してほしい。就労、無職者には支給の必要はない。自己退学等もあるだろうから、短いスパンで申請して申請者のみに支給するとか…。
33	高校卒業まで、医療助成制度を続けてほしい。乳児検診の時、はみがきや食事やおやつについて指導を受けますが、母親だけでなく年配の方への指導もお願いしたい。昔は〇〇だったからと、現在のやり方を無視した言動を多々されて困った為。子供達が広く遊べる公園や雨の日に集える施設の充実がほしい。小児科など医療が充実してほしい。
34	現中高生が一番、力を入れたい時に、学校の環境をいち早く整えてあげなかったことは不満を生み、不信感をいだいた。町に対して。そんな時代を過ごし、成長し世の中に出て、更なる地域格差を感じ、戻って来ようと思える町ではないと思います。
35	勉強、スポーツ、子供に対する支援など、近隣市町村と比べると、山田町は特に劣っていると思う。魅力のある学校、就職先もない。子供達の勉強に対するやる気も、低いような気がする。仕事、住む場所が確保できなければ、若い人達は戻らない。何度かこのようなアンケートを書いているが、子育て支援はほとんど何も変わっていない。子供は高校、大学の時期が一番出費が多いので、その時期の経済支援もしてほしい。
36	不妊治療の助成や支援を充実してほしい。子供の医療費は無料に…など。
37	子育て支援とは違うかもしれませんが、この前役場の公園に1歳の子を連れて行きました。くもの巣や雑草などが気になりました。綺麗な公園だったら、もっと遊ばせたのと思いました。子供達は砂場で遊びたいようです。各公園で砂場のある遊び場が少ないと思います。同様に遊具も少ないように思います。
38	いつも町民の為に様々な取組をしていただき、ありがとうございます。日々子育てに追われる中、親目線、子供目線でそれぞれ町をこうしていきたい、こうだったら良いのになーという意見が出てきます。今回のようなアンケートでも構いませんので、今後も町民の声が役場の方々へ届く機会を作ってくださいる事を望んでいます。今回は子供向けのアンケートがあったのもとても良いと思います。これからの若い世代の意見は重要です。「この町に暮らしたい」と思っ

番号	自 由 意 見
	てもらえるかどうかは、子供達の意見をいかに取り入れるかだと思います。今1番気になるのは、住んでいる所で目に付く「危険な箇所」の放置です。近所でも、去年の台風で崩れたままの場所、東日本大震災で海水を浴びて枯れた巨木の放置、折れた電柱の放置など、子供達が普段歩く所でも危ないままほったらかしの所が目立ちます。自治会から町へ伝えてもらっても、全く直らないままでは、未来に向けてどうこうという話はあまり考えられません。まず、今現在「住むのに安心できる環境」かどうかの調査の徹底をお願いしたく存じます。事故が起こってから動くのではなく、そうなる前に手をうつ。子供達が「山田町は僕らの事をいつも考えてくれている」と思ってくれるよう、早急な環境改善をお願い致します。乱筆乱文ではありますが、今後とも子供らの明るい未来を作る為、一緒に協力し合っていける様願っています。季節の変わり目、体調に気をつけて皆様、御身体大切になさってください。
39	とにかく人口が増えない限り、活力ある山田町にはならないと思う。進学等で山田を離れてしまうのは仕方がないが、山田にまた戻って来られる様、仕事を出来る場所がたくさんあれば良いと思う。
40	地域の方々の優しい目というのは大事だと思います。特別に集まりを持つという事ではなく、普通の会話が故郷を強く思うのではないのでしょうか。
41	病院が少ない
42	ひとり親に対して対応の仕方が統一していないことに違和感があります。ひとり親に彼や彼女がいても悪いことではないはずです。それに対して、子育てがおろそかになっていないはずですが。
43	初めての出産、子育ては沢山色々な不安がありました。幸い私の場合は実家が同じ町内なので、その都度手伝ってもらったり、連れて行ける場所があったので、とても心強く支えられ子供を産み育てることができました。近くに頼れる人がいないと心細いと思います。又、医療機関も町内には小児科、産婦人科どちらもないので、病院へ通院などとても困りました。安心して子育てができる環境が整ってほしいと思います。医療格差があってはいけないと思います。どの世代の方も不安なく暮らせる優しい町になってほしいと思います。
44	出産、子育て、何事にもお金がかかる。経済支援が手厚いと不安は少なくなると思う。学校が閉校になって、学校が、放置状態で草も生え放題。公園が少なくなって、子供達の遊び場になったりで、良かったと思ったが、ブランコも草だらけ。逆に、近づくにくくなっている。災害の時の避難所になっているが、その時になったら大丈夫なのだろうか？と思う。
45	子供達が安心して遊べる所、スポーツクラブなど作ってほしいです。
46	大槌町の共生地域創造財団という所につとめています。今後山田町においてひとり親家庭の支援をと考えています。町の政策を聞かせていただければ幸いです。
47	誕生から小学入学までの期間の子育てが、とても重要だと思っています。これまで企画されている支援策の継続、子どもさんにも親御さんにも寄りそう対策の継続をお願いしたいです。そのための関係機関との連携も大切に継続していただきたいです。
48	子どもが楽しめる場所がないので、盛岡、仙台などに行かないとないので子ども、親が参加できるイベント（親子クッキング、花びん作りなど）がもっとたくさんあれば、親子で楽しめるのでいろいろなイベントがあれば参加したい。お年寄りのイベントは多いが、親子向けは少ない。
49	フルタイムで仕事をしています。子供は小学生で学童を利用していますが、長期休みの利用時は8:00～だと勤務時間にも間に合いません。以前、学童の先生にも相談しましたが、決まりということで、できないそうです。子育て世代…周りの協力もなければ、どこに力を借りれば良いのでしょうか。もう少し考えて欲しい。子育てとは直接関係あるかわかりませんが、小学校にも空調設備は必須と思われる。大沢、豊間根の仮設住宅にある空調は使用しないで、今後どうするのですか。それを小学校には使えないのですか。

番号	自 由 意 見
50	山田小学校や山田幼稚園の近くに駐車場がなさすぎる。町外から学校行事を見に行くことになるので不便。早く大型駐車場がある所に小学校を移して欲しい。
51	頼る事が出来ない世帯（遠方からの転入等）があります。放課後児童クラブでも保育園同様に夏休みや冬休みなどは、朝7時～夕方19時までの運営をした方が、子育て支援になると思います。
52	もっと子どもがやりたいスポーツを選べるようにしてあげてほしい。少子化なのは十分分かるが、様々なスポーツを経験できる機会を作してほしい。大船渡のBMXのように、マイナーなスポーツこそ人気になり、活気が出ると思う。県内や東北にあまりない、スポーツ教室や競技場があることで来訪者も増えると思う。閉校になって、使われない校庭もたくさんあるのだから、定期的に様々なスポーツ教室を実施するなど、有効に活用すべきだと思う。
53	葛巻町で行われている、公営塾のような物が欲しいです。山田町には塾が少ないため、親が仕事をしていると、土日限定で行くしかありません。学べる環境が欲しいです。
54	乳児検診が長い。効率が悪く感じる。他市町村のように医療機関でできないか。
55	子どもの通学が不便そう。親の送り迎えが必須になると、親の仕事が時短になったり…になって、ますます就職（就労）ができなくなって…。という悪循環に。
56	新生児聴覚検査の検査料が宮古市は補助券が発行されているのに山田町はなぜ補助がないのか。山田町が出生率が低いのは一般的な支援策のみで山田町独自の支援がないのが原因。山田町からの出産祝いやクーポンなどの発行など金銭的な支援を求めている。
57	宮古市はコロナ対策の支援金がお腹の中の子供にも出たのに、出なかったのはなぜか。近くの市町村と比べて、子どもの医療費や保育料の補償が手薄い。でも、プレミアム商品券は良かったです。
58	豊間根にドラッグストアがほしい。急な発熱、ケガなど、いちいち山田まで行かなければならないのが不便。
59	町内、都市整備がすすんで、ドライバーとしては移動や災害時避難がしやすく住みやすいと感じるが、子を持つ親の視点になった時、スピードの出やすい幹線道路、交通量が多く信号機のない交差点、線路内に進入しやすい箇所がある等、危険や不安を覚える箇所が他市町村より多いと感じる。大きな事故が起こる前に、町側も周知してほしい。
60	小さい子どもがいる世帯にはせめて医療の充実、小児科がないのは不安。子どもに優しい町だとは思いません。他の市町村も参考にされるとよいと思います。町ぐるみで子育て支援、イベントをしている市町村には魅力を感じます。
61	小児科医を山田町にも置いて医療を充実させてほしい。延長、休日保育や一時預かり等の保育サービスをすることで、働きながら子育てをすることができると思う。（夜勤などある仕事をしている人も安心して子育てをしていけると思う。）
62	学校が合併した事により生じているトラブルにきちんと対応してくれる組織の構築。親世代がきちんと働き、収入を得ることのできる仕事の誘致。小児科や耳鼻科等、近隣に行かなければならず、緊急時にとても困る。医療機関の整備。
63	給食費について、子の人数に限らず、1人目から免除してほしい。子が多いなら多いなりに、給付があるのにおかしい。（1人であろうが、5人であろうが平等にもらってるんだから）子が1人、2人と少なくとも、全て平等にするべきだ！4月から給食が始まったが、異物が混入したとの事で、おかずが一品減ることが何度かあった。そのこと自体、仕方のないことだし、文書にて教えてくれるが、その分の代替品など何もないのか？その日は無理だとしても、別日に何かあっても良いと思う。給食費を払っている親からすれば、おかしいと思うに決まっている。給食センターのミスなので、そちらでその分は負担して、対処するべきだ。謝れば良いという問題ではない。山田小学校の4年生や2年生（他のクラスにもいるかも）には、まじめに授業をせず、周囲に迷惑をかける子がいる。障害があるならあるで、障害はなくても、そのように

番号	自 由 意 見
	迷惑をかけている子は特別学級があるのだから、自分に合った所に入れるべきだ。その子の親が納得しないから、みんなと一緒に居させているけど、そんなのエゴだ。一番迷惑しているのは、まじめに取り組んでいる子どもたちだ。隣の大槌町は、町民の確保、増やすために色々なサービスがある。このままでは山田町民は減る一方だ。まずは、子どもたちへのサービスなど、そして、子育てしやすい環境が必要だ。せっかく、このように調査しているのだから、全ての意見、要望を共有し、よりよい山田町にしていってほしいと願います。はっきりと書かせていただきましたが、山田町が大好きだから、無くしたくないからです。以上、よろしくお願い致します。
64	出産から町内でできると安心できるので、町外に出なくても安心して子育てできる様になるとうれしいです。
65	いい本が有りましたので紹介します。2008 年 6 月 10 日「持続可能なまち小さく、美しい」上勝町の元気をあなたにも”木の葉をお金に変える葉っぱビジネス、全国最多の 34 分別でごみの 80%をリサイクル、第 3 セクターによる地域資源を生かした産業おこし、住民による地域づくり…山田町の資源いっぱいあります。将来の子供達の為、町おこししたいですね。
66	不妊治療の助成金を収入に関係なく同じように出してほしい。学童の時間を夕方 18:30 までに、休日の朝は 7:00 からにしてもらえると仕事をしながらも子育てできる。小学校、中学校にいい先生をよんでほしい。先日、新しい山田小が山田中の近くにできると新聞で見たが、小中で連携して、学力向上にもつとめてほしい。4 月から給食がスタートしたことがとてもありがたいです。子どもたちのためになることはどんどんしてほしい。
67	子育て支援のためにも、医療の充実を最優先にしてほしい。産婦人科、小児科受診のために町外に出なければならぬのは非常に負担がかかる。(身体的・精神的・経済的)
68	多く産むにも、結果お金がかかります。そこの免除等が多ければ山田でも産みたい、住みたい！という人も増えると思います。
69	親が安心して産み育てる環境をつくっていく。仕事のことを考えると一市町村の問題では解決できないこともあると思うので、国や県には労働環境の改善などを働きかける必要があると思う。
70	Y ショップ向かい側ののり面の草刈を定期的にする。もしくは草木の生えないようにしてほしい。何年も前から対策がされず、通学路なのに上から落ちてくる草が歩道にたまり（下にたまった草が下に蓄積して雑草が生える）、秋冬には歩道が 1/2 から 1/3 に狭まり雪が降れば道路寄りを歩くのが危険。住民もたくさん通る所なので早く改善してほしい。
71	将来子供が成人した時に働ける場所が（山田町）少ない。
72	小児科が山田町にないのでほしい。教育委員会のみなさんへ。やる気ないならやめてほしい。町の子供達のためにもっと頑張してほしい。今のままでは役立たず。税金どろぼうです。子育てしながら働ける場所がない。(土日休みとか休みをとりやすい職場など)
73	隣の宮古市では、子供達の医療費が全額無料だったのでとても助かりました。山田町に転入して、750 円までの負担があり、病院が耳鼻科、小児科、皮膚科等何カ所か分けて通院させると、5000 円くらい差が出ますし、子供 3 人となると更に負担が大きいです。子供は、大人に比べても病院に行く事は多いです。医療費の助成の充実が何よりも嬉しいです。最近ではコロナ関連で世帯ごとの給付金が支給されましたが、(当初は 4 月 27 日までに生まれている人のみ)あとから、直近に産まれた子供についても臨時給付金が支給された市町村(盛岡、宮古、久慈)がありました。私の所も三男が 6 月に生まれ、対象だったので山田町でも支給を決定してくれたらいいなと思っていましたが残念ながら山田町では支給されませんでした。少し前までは宮古市に住んでいたのもあり、少し悔しいなと思いました。産休、育休中であれば、育児休業給付金等の支給があるとはいえ、休業前よりも収入が減るので、少しでも給付金等の実施がある際には積極的に動いていただきたいなと思いました。町の予算等もあるとは思いますが、ぜひ私達に有利になる制度や給付金等が緊急に決まった時などにも前向きに検討していた

番号	自 由 意 見
	だくようお願いしたいです。
74	スポーツ（バレー、陸上など）をしっかりと教えてくれる先生や場所があったら良いと思う。部活動でする事は細かい指導がないのでなかなか伸びない様な気がします。
75	24 時間対応してくれる保育所や学童。必ず、祖父母などがいないと子育てできない状況なので、フォローなくても子育てと仕事の両立できるような対策。子育て支援金。給食費、学校の集金などをタダにする。保育園や幼稚園、学童などタダにする。質の高い教育を受けられる学校の誘致。英語教育や運動、IT など
76	子育てをする女性の職場復帰できる企業が少ないと思います。少子化問題でも、経済面、母親のメンタル面でも、子供が欲しいけど…となってしまうのではないのでしょうか。幼児の遊べる公園、遊具が少ないです。危ないからとかケガをするからとかの理由だと思いますが、外で体を動かして遊ぶことができている。親と一緒に遊べばいいのではないかと。できる親もいればできない親もいます。体を動かしながら自分達で遊びを考えて一緒にやってみたりと体験することも大事だと思います。
77	山田では仕事する事が出来ないくらい働く場所がないので人が入れない、出会いもない。
78	県外から来た私たちにとって山田は医療の面でとても不安でした。小児科は宮古まで行かないとないし、不便でした。
79	山田町に誘致企業を建て、若い世代が働ける職場を多くしてほしいです。大槌は人口も山田より少ないのに、たくさん企業や加工場があります。
80	いっばいっばがなくなり、ゾンタハウスもなくなりました。放課後、週末、長期休業中の子どもの遊ぶ場所、アクティビティ、学習支援の場所が必要だと思います。家の中でゲームばかりになりがちですが、人とのコミュニケーションを学ぶためにも、様々な年代の方々、同世代の子たちと交わって遊んだり学んだりする場所があったらいいなと思います。放課後等デイサービスは、現在町内になく、障害児の学童を必要とする方々がいらっしゃいます。障がい関係の事業所に声をかけ、やらない時には釜石市のように町ですべきと思います。社協に委託でもよいのではないのでしょうか。不登校児童、生徒の支援にかかわっていますが、R2.9 月～宮古市でフリースクールのオンライン学習への補助（「おうち寺子屋サポート」利用料無料）を始めたと言いました。宮古市の花鶏学園というフリースクールへ委託（補助事業活用）しているようです。山田町でもぜひやってほしいです。学習でのつまづき、家庭の養育の低さなどから不登校となり、そのままひきこもるケースもあります。早期支援を始めると、社会へ出られる可能性も高くなります。ぜひご検討いただきたいです。思い切って、子ども一人月 5 万円の子ども手当を支給すれば、2 人目、3 人目と検討する人も出て来ると思いますし、転入する人も出て来るかもしれません。合わせて、住宅確保も必要だとは思いますが、スポ少についてですが、経済的に大変な世帯の子どもも気軽に参加できるようなスポーツクラブがあればいいなと思います。生活困窮によりスポ少をやめざるを得なくなった家庭もありますし、遠征とかもなく、大会も無くていいけど、1 回 200 円を週 1 で利用できる（宮古市にあったと思います。）スポーツクラブがあると、救われる子もいると思います。経済的に恵まれている世帯とそうでない世帯で、様々なアクティビティへの参加や社会経験に大きく差が出ていると感じます。はびねの利用についてですが、山田地区の子は歩いて利用できますが、船越、豊間根の子はなかなか子供のみでは利用できないと思います。中高生などに、三鉄無料券を配って、はびねで学習支援したりなど活用が広がるのではないかと思います。一人親家庭への食糧支援についてですが、社協などで月 1 回 or2 月に 1 回でも食糧支援をしてほしいです。
81	大浦地区に遊具のある公園や三輪車や自転車など自由に子供達が遊べるスペースがあると良いです。道路も舗装されていない所が多く、散歩をしていても転倒し危険な思いをしました。県北バスも通るので早めの舗装を希望します。仕事をしていると検診の時に休みを取らないといけない為、受付時間にもう少し幅をもたせていただけるとありがたいです。検診以外でも子育て相談を気軽に出来ると、とても安心できると思います。病院を受診する程ではない体調の変化など、0 歳～2 歳位の頃は不安が多かったの、話を聞いてもらったり、アドバイスをい

番号	自 由 意 見
	ただけると助かると思います。
82	子どもを1人の人間として尊重していないような態度を見せる親が、山田町ではよく見受けられます。”浜どころで口が悪いだけ”とは済まされないような、聞いていて心が痛くなるような暴言を耳にすることが多々あります。サービスや支援制度、施設を整備する前に、小さい子どものうちから、相手を大切にできる心を育てる教育を受けさせてあげなければいけないと強い危機感を持っています。子どもやその親、あるいは両方に問題を抱えた家庭が山田町には多いのですが、そういった家庭をなくしていくためにも、他者を尊敬できる人を育てていくことは、長い期間をかけてでも取り組むべきだと思います。子育て支援というのなら、町の財政を優先して保護者の意見を聞き入れずに強行した、学校再編によりできた山田小学校で毎日のようにトラブルがある中、どれだけの子どもがつらい思いをして泣いているか、現状を知った上でまちづくりに着手してほしいです。無理に合併させたことで子どもたちに与えた影響を知っておくべきです。アンケートに関して意見ですが、子育て世代用、中高生用とも質問事項に問題がありすぎです。せっかく多くの方から意見を聞いたりデータを取ったりするので、正しい結果が得られるような調査票となるよう、しっかりチェックしたほうがいいと思います。
83	働く所や遊ぶ場所、移動手段が不便だと、若い人たちは便利で楽しい所に流れていくのは当たり前。大人になっても地元になりたい、働きたいと思える所が少ないと、自分の子供にも、地元に残ってほしいとは言えない。若い人たちが自分たちの子育てを支援してくれていると思えるような魅力がなければ、少子高齢化は進む一方だと思う。個人的に、中学生までは医療費の窓口負担をなくしてほしい。
84	子育ての事ではありませんが、町営や災害公営住宅等を、単身でも若い子たち（就職している子）でも入居できるようになればいいなあと考えています。自立をして一人暮らしをしてほしいと思っても、安いアパートもなくなかなか難しいと思います。
85	保育園は延長保育があり、19時まで預けることができるのに、小学生になり学童になると18時までというのは、就業時間的に迎えが厳しい。民間との違いはあると思うが、子育てをするうえで、迎えに向かう時間を含めるとこの1時間は結構大きい。仕事を抜けられなければ、学童に行かせず1人で自宅に帰らせるしかないが、統合し、学校と自宅の距離が長く、1人で徒歩で帰らせる心配と、何時間と1人で家に居させなければならない。危険との隣あわせです。統合をきっかけに、学童の時間を見直してほしいです。
86	子育ては楽しい事ばかりではなく、年齢が低ければ低い程、お金も手間もかかります。共働きが当たり前となっている現代ですが、母親の働く環境、時間等は非常に限られており、難しい状況です。そのため、金銭に余裕がなかったり、精神的に苦しくなったりと、何らかの悩みがあると思います。働きやすい時間帯、職種、子どもを預けられる場所の整備が必要だと思います。時間に余裕のある高齢者の方に、また、子育てが終わり、また働きたい中年の世代の方の協力があれば、その方達の雇用も含め、活気が出て町も豊かになると思います。
87	子どもと小さい子も含め、室内でも体を動かせる場所、体育館、室内プールが必要。児童館など。飲食にしても、小さい子を連れて行くと気をつかうことが多いので、子育て世代同士、ゆっくりとお茶を飲めて、子どもを遊ばせられる場所、長く居られる。その為にも、そこに授乳室、調乳室、オムツ替えが出来て、オムツのゴミも捨てられるような場所がありがたい。ベビーカーを使って歩きやすい道路。小さい子を連れて、トイレに入れるように。子どもの服が小さくなったら、ただで預けてそれをサイズ別に置いてくれて、自由に他の人がもらえるような。おもちゃも。小さい子を連れていけるとお昼寝前には帰るので、宮古市のキャトルの子育て支援センターのような自由で、昼食も他の家族と一緒に食べて遊んで帰れるような、自由な支援センター。人形劇や、映画を小さい子ども向けに呼ぶ。
88	人を増やすために、何が必要か考えてほしい。土地も高い、アパートも高いなどよく聞くので。もう少し若い人でも、手に入れられる価格ならば、職場から少し遠くても高速もあるし、山田は土地もアパートも仕事しながら支払っていけるとなれば、人が集まると思う。公園があつて

番号	自 由 意 見
	も、何もなく遊びたいと思える公園が少ないと思う。遊具が危ないというのもわかるが、何もなさすぎる。気軽に勉強したり、おしゃべりしたりする所が少ない。図書館はあるけど、もっとそういうスペースがあるといいと思う。
89	子どもは好きなのでたくさんほしいが、育てるためにはお金と生活面での支援が必要なため、人数を少なく考えてしまう。教育費を少なくするような補助や給付、貸付。気軽に申し込んで利用できる家事援助、託児、ヘルパーのサービスが整ってくると、核家族でフルタイム勤務でも、まわりの助けを得て自分もストレスが大きくたまることなく育児できそうだと思います。あと、公園や子供を遊ばせる場所がとても少ないし、あっても遊具が充実していない。特に雨の日は、山田は図書館くらいしか行くところがなく、子育て世代にとってはやさしくない町だなと思います。大きくなくてもいいし、お金をかけなくても積み木があったり、滑り台1つでも町の中のお店やスペースにあれば、それだけでも母親の心は大きく助かります。山田は結構たくさん産んでいるお母さんが多いと思う。お母さんを大切にすることで、子どもへ接する余裕が生まれ、子どもの自尊心や山田町を大好きでいる気持ちが育まれると思います。もっとこうしてほしいという意見は耳が痛いと感じるものも多いかもかもしれませんが、このアンケートをとるということは、山田町も何か子育て、山田の将来を大切に思ってくれていると思うので、小さくても良い、何か形にしてほしい。そして、何か形にするときは、男性だけで決めず、色々な女性に意見を聞いてほしいです。いつも夜おそくまで役場に電気が点いていて、町民のために頑張ってくれていると思っています。ありがとうございます。
90	山田町では、子育て支援に力を入れていると思う。相談などを気軽に出来る環境は、もうあると思いますが、なかなか勇気がない…時間も無くて行きづらい。なので、健診的な感じでも、話を聞いてもらえる機会があるとうれしいです。
91	少子化による学校の統合により広域にわたる通学を低年齢から（以前は高校からでしたが）しなくてはならない町になる為、通学の交通を（スクールバスの本数を増やすなどして）勉強などに支障のない充実した地域づくりがあると良いと思います。住みやすい＝楽をしたい、若いお母さんが増えている為、苦情がとても増えている。震災後になりました。支援を長く受けた流れもあると思います。若い方達が一生懸命働くことの出来る町になればと思います。子どもの通学（バス）、大雨の時など無理な登校のないよう待機場所、地域のコミュニティセンターなどの開放で安心できる町づくりになればと思います。
92	町の公園が少ない。旧小学校の校庭に草が生え遊べる環境じゃない。
93	高校生からお金がかかるので、手当等お願いします。
94	病院、医師、診療科目の充実・増員。一人親へのサポート（特に祖父母と同居ではない家庭）
95	若年層の定住、移住を促進していかないと、バランスがとれなくなると感じる。山田だから移住したい、定住したいと思えるような何かを創出していく必要性を感じるが、その何か、が自分にもわからず、今の若い世代にどんどん意見を聞いていくべきと思う。大人達が、しっかりと見本をみせること。地域においても、あいさつ等つながりを持つ姿を、若い世代、子供達に見せていくことが大事と感じる。地域のつながりの希薄化、核家族化により、子育ての問題を家族のみで抱えてしまい、心に豊かさが足りない状況につながっていると思う。
96	育児中数時間でも子どもを預けられる取り組みがあればと思います。どうしても母親のみワンオペになりやすく、1人の時間がほとんど取れずつらいです。息抜きをできるように気軽に預けることができるちょっとした施設などあるといいです。（有料でも利用する人は多いと思います）宮古市のファミリーサポートセンターの取り組みも参考にしてほしいです。なかなか助けて欲しいと声をかけられない人もいると思うのでぜひよろしくお願いします。
97	保健師さんと家庭、保健師さんと保育園や幼稚園など情報を共有して子育てについてアドバイスや連携をスムーズにできた方が良いと思う。公園などの整備もよろしくお願いします。
98	子供を育てるのはとにかくお金がかかります。夫婦でフルタイムで働いていますが充分ではありません。少しでも多く収入がほしいと保育園の行事がもっと減ったらいいのに！と思ったこ

番号	自 由 意 見
	ともありました。大浦に住んでいると自家用車は欠かせません。自動車税、車検、車の修理。携帯電話、スマホ×家族分で生活費 2 人の収入も右から左へ消えていきます。子どもはかわいいです、それでもあと一人、あと一人とはいきません。はっきり言えば、たくさん稼いでたくさん使うより、子供に使えるものは使っても適度に働きたいと思う事です。小さいときはミルクもオムツも衣服もバカになりません、病院にも 3 人の子供が代わる代わる風邪をひくたび仕事を休んで 3 週間も行けなかったことも有りました。社会状況も 10 年・20 年・30 年と変わっていけば違ってきます。親が節約をして貯金をしろと言っても体が疲れればそれもままたりません。時代が違うんだよと言いたい。支援金もいいですが、無料を増やすことが希望です。子供がいる家庭が得をするようになれば変わってくるのではないのでしょうか。
99	子供達が楽しく学校に行けるようにしたいと思っています。将来の話ではなく、今の問題ですみません。授業にならない子供さんに対しても、本人がとても苦しいと思うと今の状態が良いとは思いません。他の子供達も、毎日のように誰かとトラブル、その度に授業は中断しケガ、泣くをくりかえしています。このまま中学校に入学をさせてしまう事が小学校の正しい判断なのか、疑問を持つご家庭がたくさんあります。同じクラスになれば、受験勉強も出来ない事になると先を不安がる声も多く耳にします。本人もひらがな、カタカナなども間違える状態で 6 年生というクラスに居るストレスは大きいと思います。担任の先生はとてもつかれています。親御さんが…。と聞きますが、何か良い方向に進む事が出来るよう、親御さんに提案や話などまた、時には強い形で希望しています。
100	コロナ問題が落ち着いてからになると思いますが、すすく広場や赤ちゃんランド等の集まれる機会や場所を増やしていただけるといいと思います。公園の整備もしていただけると助かります。
101	少子化対策は国家的課題であるが、現在の危機的状況を強く認識し、これまでにない山田町独自の大胆な施策を考えて欲しい。具体的な出生数の増加目標を掲げて、妊娠、出産及び子育てを支援する施策を実行して欲しい。妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援。出産時には「すこやか出産祝い金」50 万円を支給。第 1 子出産時から支給し、1 子増えるごとに 20 万円を増額して支給。子育て支援に関する相談窓口と妊娠、出産及び育児に関する相談窓口の一元化。家庭で育児をする世帯に対しても助成金を。病児保育の利用料全額助成。第 3 子以降の子どもを持つ家庭に対する子育て応援手当の支給。中学校進学に要する費用の一部として 5 万円分の商品券を給付。第 3 子以降の子どもに対しては、学校給食費を全額助成。山田高校生生徒への学校給食。高等学校・高等専門学校に在学している子を持つ世帯に対して年間 5 万円を支給。
102	こちらの質問などにすぐ答えられる職員の方がもっと増えると良いなと思います。
103	医療費無料（小学生以降も）。雨の日も体を動かして遊ぶ事のできる施設がほしい。子供の受診の多い診療科が町内に欲しい。（小児科、皮膚科、耳鼻科）
104	子育て支援については健康子ども課が手厚くやってくれていて感謝しています。出生率を上げるためには、まず、山田に来る人を増やす必要性があると考えます。山田の魅力は十分にあるのですが、それが岩手県全体を見たときに、山田の立ち位置はどこにあるのか。他の市町村の人々からどう思われているのか…。それを山田の町を動かしていく人が知って魅力を発信していくことが人を増やし、ゆくゆくは出生率の増加につながっていくのだと思います。山田の魅力：美しい海の景観、美味しい海産物、しいたけ等の農産物（おそらくこれらは他の市町村（特に内陸の人）は知らないと思う。沿岸といえば宮古や釜石、大船渡。）、子育て支援の充実。足りない部分：魅力の発信力、田舎だと思われる、山田までの交通の便が悪い、子どもと遊べる場（毎日開放しているようなところ）・飲食できる（キッズスペースで遊ばせておけるような）場が欲しい。
105	岩手県内や、隣町の支援策などが先行しており、町として話題性のある子育て支援策がない。周囲の父や母などが、宮古では 4 月以降に産まれた子供にも 10 万円の給付があるのに山田町では無いと言っていたのも印象的であった。そういう支援策を先々に打てないと活力のある町とは思えない。住みたい山田町にするために、子育て向けの何か新しい補助制度があっても良

番号	自 由 意 見
	いと思う。働く場所（子育て向けの育児時間の取りやすい職場）の提供や定住化に向けた、新築または現在ローンなどでの持ち家の子育て家族への補助金や支援制度があると良いのではないか、などはよく思う。
106	産婦人科があれば、何かあっても安心（子どもの命を守る為）。小児科も宮古などに通う際も、体調が悪い子を車に乗せて宮古に行くのは、遠く感じる。そして混んでいればなおさら、子どもが疲れて大変。